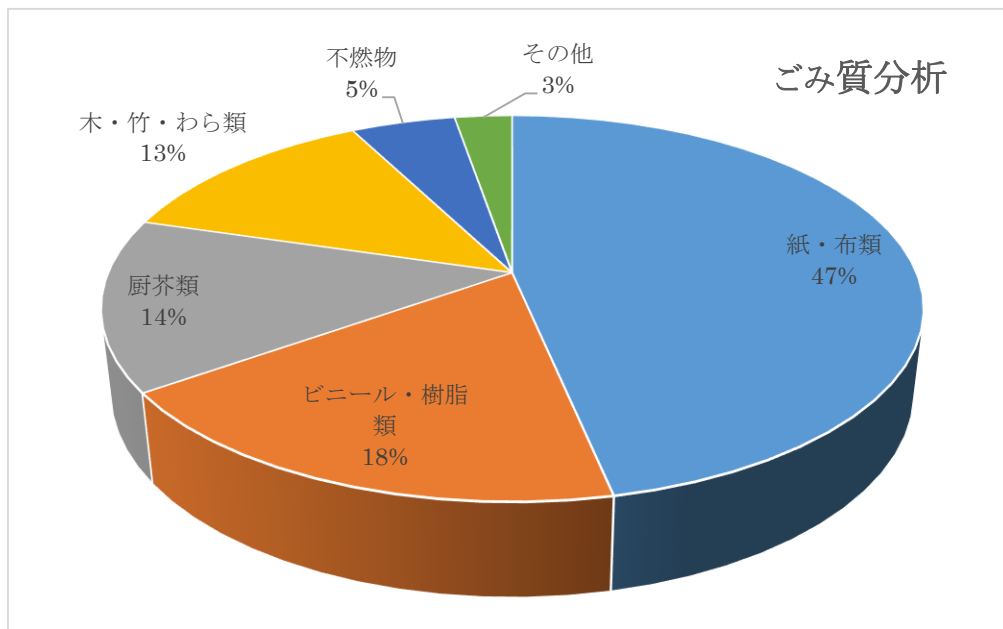


可燃ごみ減量についてのお願い



平成 25 年度 ごみ質分析の 1 年間の平均グラフ

リサイクルの森に搬入される可燃ごみのごみ質分析調査では、紙・布類が約 47%、次いでビニール・樹脂類が約 18%、台所から出るごみ厨芥類が約 14%含まれていました。

新聞紙や雑誌、段ボール類は「資源ごみ」として出させていただいていますが、まだ出せる部分がありますので資源ごみとしての回収にご協力をお願いします。

また台所ごみのうち約 80%は水分です。仮にこの水分が半分減ったとすると、その量は可燃ごみ全体の概ね 5%に相当する量になり、約 2,000 トンの減量がされることになります。

水分を減らすことは、ごみの減量につながるとともに、臭いの発生の抑制、処理費用の軽減にも効果があります。

処理量の削減のために「紙類のごみ」を資源ごみとして分別することや「台所ごみ」の水切りやひと絞りにご協力をお願いいたします。

ごみの削減をするためには、住民の皆様方のご協力が不可欠となりますので、よろしくをお願いします。

桑名広域清掃事業組合資源循環センター（愛称 リサイクルの森）

〒511-0125 三重県桑名市多度町力尾 TEL0594-31-8880